

## LEQ 集団活動プログラム 《お手玉ストラックアウト》

タイトル	お手玉ストラックアウト
大ジャンル：	運動
中ジャンル：	レクリエーション
小ジャンル：	球技
使う道具：	お手玉・ナンバーシート
場所	室内
人数	2-
内容	1から9のマスが書いたマットにお手玉を投げて数字にお手玉を乗せたり、ビンゴを作る運動能力や集中力を高めるプログラム

### 5領域

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
	○	○	○	○

### 【 流れ (20分) 】

時間	内容	児童の予想される行動	支援員の動き
00:00	<p>活動の始まりの挨拶 「今から活動を始めます。礼。」</p> <p>準備 お手玉とナンバーシート、投げる場所にリングを置く</p> <p>ルール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1チーム3~4人（全員で9個のお手玉を投げる）に分かれる</li> <li>お手玉をリングの位置からナンバーシートに向かって投げる。</li> <li>投げたお手玉が数字の上に乗ったら1点、「123」や「147」、「159」のように縦横斜めにお手玉が揃った場合は2点獲得する</li> <li>4~5回戦を行う。</li> <li>成績発表の流れ</li> </ol>	<p>挨拶時に正座ができていますか。</p> <p>聞く体制が取れているか（寝転んだり、喋ったりしていないか）</p>	<p>正座をするように声を掛ける。</p> <p>ルール説明時には座って聞くように声を掛ける</p>

	※投げる際は下投げで行うように声を掛ける		
05:00	チーム分け 2・3チームに分かれてもらう チームでチーム名や投げる順番を決めてもらうようにする。 チームでの話し合いが終わったら、チーム代表者がじゃんけんをして順番決める	話し合いをせずにおしゃべりをする。 チーム内で投げる順番でもめる 話し合いに参加しない	スタッフがチームの中に入り話し合いをするようにまとめる 順番などはじゃんけんを決めるように声を掛ける。
08:00	順番にお手玉を投げる 投げていない児童は自チームの応援をしてもらう	下投げをせずに上投げで遠くに投げてしまう。 ボールが上手く入らずやけになって投げる・途中で諦めてしまう。  投げていない児童が立ったり、寝そべったり、遊んだりしていることはないか	まだチャンスがあることを伝える。 最後まで投げるように声を掛ける  投げていない児童は応援をするように伝える。  他チームの児童は座って見るように声を掛ける。
17:00	結果発表 まとめ	負けてしまった児童が泣いてしまう。 立ったり、おしゃべりをしていないか。	負けたチームには次があることを伝えるなど気持ちを切り替えられるように声掛けを行う。
20:00	終わりの挨拶 「これで活動を終わります。礼。」	正座ができているか。 おしゃべりをしていないか。	正座をするように声を掛ける。

### 【実施のポイント】

- ・児童の興味関心を高められるような声かけをする。  
→活動へのモチベーションの維持を行えるようにする。
- ・児童のスキルに合わせた内容を意識する。  
→学年や年齢によって投げ方や位置の調整、チームバランスを考慮する。

## 【アレンジパターン】

### 1、個人戦

一人でお手玉を9個投げて全マス制覇やビンゴを狙う。より集中力や狙いの精度を上げる必要がある。